

4月25日（月）記者会見における知事発言要旨

[東日本大震災被災地への愛知県からの学芸員の派遣について]

東日本大震災では、被災地各県で、多くの文化財にも被害が生じております。

文化庁では、被災した文化財の保全と、廃棄・散逸の防止を目的として、東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援事業、通称「文化財レスキュー事業」を行うことを決めております。これに基づき、文化庁から各都道府県に対し、学芸員等の専門家の派遣や、被災文化財の一時保管等について、協力要請がありました。

そこで、県としてこの要請に応え、積極的に協力・支援することとし、明日26日から、愛知県美術館の学芸員1名を、被災した宮城県の石巻市立石巻文化センターに派遣することとしました。

石巻文化センターは、津波に襲われて浸水し、大きな被害を受けておりますが、本県から派遣する学芸員は、収蔵庫からの絵画の救出及び応急措置などの作業に従事いたします。

文化芸術は、人の心に癒しや希望を与え、震災復興にも貢献できるものであり、既に本県が行っております人的・物的な支援に加え、文化財の保全への取り組みも、極めて重要なものであると考えます。

本県では過去に、阪神・淡路大震災の際にも、愛知県美術館から、学芸員を派遣し、被災文化財の復旧を支援した実績もございます。

県としては、今後とも、学芸員の派遣をはじめとする必要な協力を惜しまず、積極的に支援してまいりたいと思います。

[東日本大震災による観光の影響への対応について]

東日本大震災に伴う自粛ムード、あるいは、風評被害によって、旅行者や宿泊者が減少するなど、本県の観光関係事業者も大きな影響を受けております。

観光庁の発表によりますと、震災後の約1か月間で、全国のホテル・旅館で、約56万人の宿泊がキャンセルとなっております。愛知県内のホテル・旅館からも、海外からの宿泊予約を中心として、多くのキャンセルが発生しているという声をお聞きしております。

そこで、国内外からの観光客の皆様が、本県に安心してお越しいただけるよう、本日から、県のホームページにおいて、「県内の各交通機関、宿泊施設、観光施設は、震災の影響はなく、通常どおり営業している」旨の情報発信を行うことといたしました。この情報発信は、日本語に加え、英語、中国語（繁体・簡体）、韓国語でも行ってまいります。

併せて、名古屋市、愛知県観光協会、名古屋観光コンベンションビューロー、中部広域観光推進協議会とも連携し、それぞれのウェブサイトにおいても、同様の情報発信を行っていただくこととしております。

私としては、被災を免れた地域から、観光を通じて、「日本の元気」を発信していくことも、被災地の支援につながると考えており、今後とも、本県の観光振興にしっかり取り組んでまいります。

〔被災企業等支援のための立地サポートデスクの状況〕

次に、東日本大震災の影響を受ける企業を支援することを目的として、名古屋市との協力の下、3月28日に設置した「立地サポートデスク」についてであります。

相談等の件数は、4月22日（金）現在で120件となっております。それらの内容は、

- ・名古屋市インキュベート施設への入居相談
- ・計画停電等の影響による事務所・工場移転の検討
- ・生産機能移転に伴う従業員の住宅相談
- ・県内企業からの遊休地情報の提供

となっており、県としては、

- ・空きオフィスや用地情報の提供
- ・遊休地情報の県ホームページへの掲載

などの対応を行ってきております。

こうした中、名古屋市内の個人から無償提供の申し出があった工場について、東北地方の企業への提供が決まった案件もありますが、その他の相談についても、引き続き、相手方との調整を行っているところです。

被災企業からの相談件数は、このところ若干落ち着いてきておりますが、今後、東日本に拠点を置く企業が、今夏に見込まれる電力使用制限への対応として、中部以西に生産機能の移転を検討することも考えられます。

先般（4月11日）、東京では、名古屋市、豊橋市、豊田市とともに「愛知東京事務所産業誘致連絡会議」を設立したところであり、今後とも、関係自治体と連携しながら、きめ細かく対応してまいります。

中部芸術文化記者クラブ同時発表

平成23年4月25日（月）
愛知芸術文化センター愛知県美術館
担当：古田・大島
電話：052-971-5511 内線 320・327
県民生活部文化芸術課振興グループ
担当：陣内・岡田
県庁内線：2459・2460
電話：052-954-6183

東日本大震災被災地への愛知県からの学芸員の派遣について

文化庁からの要請に基づき、愛知県から下記のとおり職員を被災地へ派遣します。

記

1 出発日時

平成23年4月26日（火）午後

2 日程・派遣職員

日程：平成23年4月26日（火）～4月30日（土） ※日程は移動日を含む。

派遣職員：愛知県美術館 学芸員 おおしまてつや 大島徹也

3 派遣場所

石巻市立石巻文化センター（宮城県石巻市南浜町一丁目7-30）

4 活動内容

被災した石巻文化センターから、絵画類の救出及び応急措置を行う。

5 その他

文化庁が実施する「東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援事業（文化財レスキュー事業）」に基づき、全国美術館会議からの学芸員等の派遣要請に応じて、愛知県美術館の学芸員を派遣する。

今後も要請に応じて、随時学芸職員を派遣する予定。

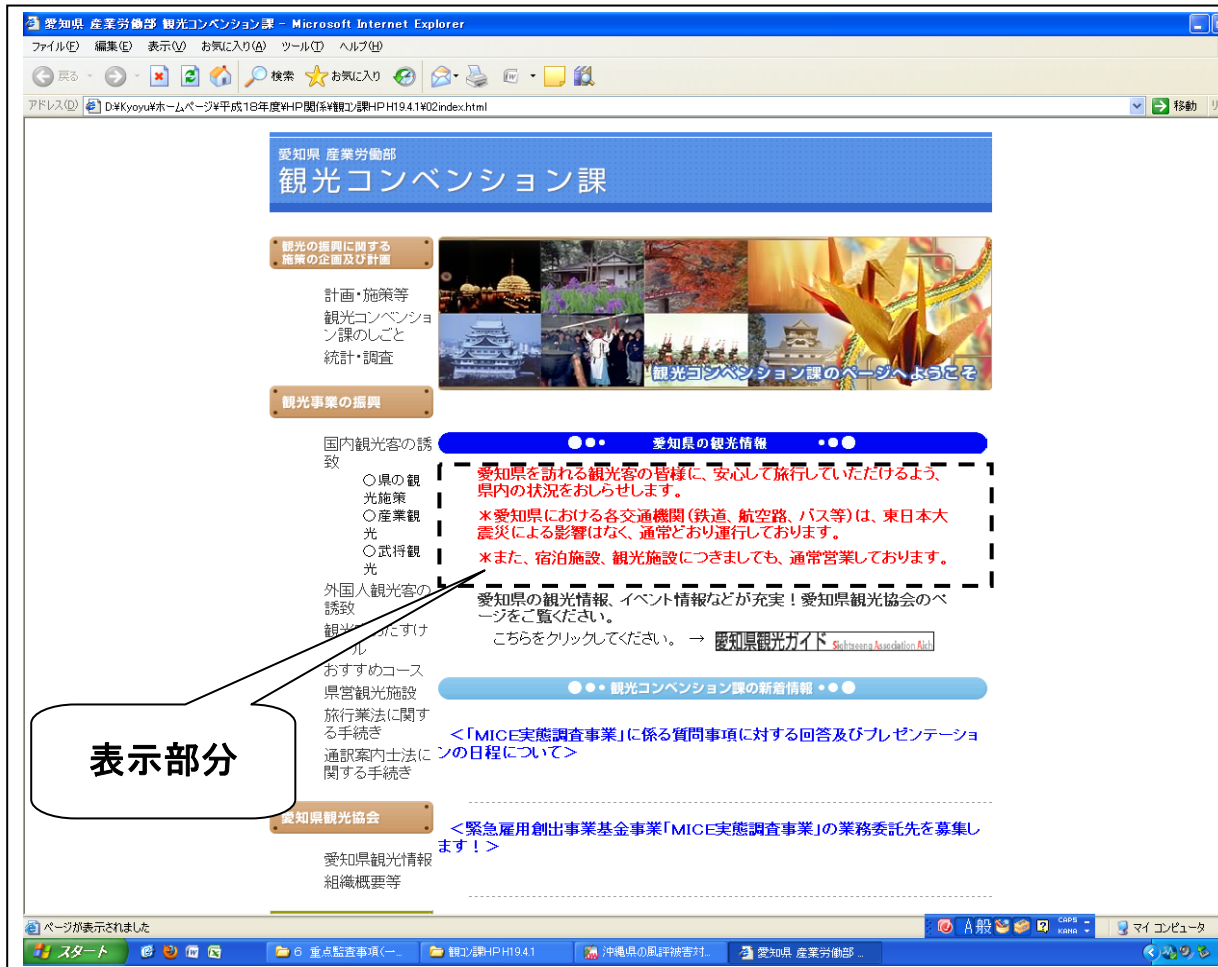
平成23年4月25日（月）
愛知県産業労働部観光コンベンション課
国内誘客グループ
担 当 春田、兼松
内 線 3375、3376
ダイヤル 052-954-6355
海外誘客グループ
担 当 判治、稲熊
内 線 3377
ダイヤル 052-954-6378

東日本大震災による観光の影響への対応について

東日本大震災は、被災地のみならず、それ以外の地域においても、様々な分野に直接的又は間接的な影響を与えております。本県の観光に関しても、海外からの宿泊予約を中心として、多くのキャンセルが生ずるなど、大変大きな影響が出ております。

こうした影響への対応策として、国内外からの観光客の皆様が本県に安心してお越しいただけるよう、本日から、「県内の交通機関、宿泊施設、観光施設は震災の影響がなく、通常どおり営業している」ことを、県のウェブサイトを通じて、情報発信いたします。この取組は、日本語に加え、英語、中国語及び韓国語でも行い、内外に情報を発信してまいります。

なお、名古屋市、(社)愛知県観光協会、(財)名古屋観光コンベンションビューロー、中部広域観光推進協議会においても、それぞれのウェブサイトにおいて、同様の情報発信を行っていただくこととしております。



【日本語】 <http://www.pref.aichi.jp/kanko/>

※なお、下記の言語でも同様の情報発信を行っております。

【英語】 <http://www.pref.aichi.jp/global/en/sightseeing/index.html>

【中国語(繁体字)】 <http://www.pref.aichi.jp/global/ch/sightseeing/index.html>

【中国語(簡体字)】 <http://www.pref.aichi.jp/global/ck/index.html>

【韓国語】 <http://www.pref.aichi.jp/global/hg/sightseeing/index.html>